

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(1) 過疎地域音楽文化創生事業	平成28年4月 ～平成29年3月	高千穂町内の吹奏楽部は、3校のみで学区や地域の垣根がある状況です。この状況では将来この地域を出て活動するのに様々な障害があります。違う世代の人や地域の方と共に活動し接することにより、得て学ぶことが非常に多いと考え、その活動をします。また、40年以上の歴史の中で楽器の更新もされておらず、他の学区の同世代や新たに始めたいものに貸し出す楽器もないので、環境の整備を図っていきたくです。	高千穂町吹奏楽連合会 [tzedakah]
	*練習時間 16:15～18:30 火・木曜日に小学校の吹奏学部練習室を解放		
(2) Tokyo Cantat 2016	平成28年5月5日	“Tokyo Cantat”は世界各国の合唱音楽の紹介と日本の合唱文化の再確認という2つの柱から成り立っています。世界的に活躍するカール・ボクセット、エルヴィン・オルトナー、カスパルス・プトニンシュ 3名の指揮者を講師として迎え、セミナーと講師指揮のコンサートを行います。セミナーでは歌唱法や指揮法を中心にレッスンが行われ、多様な公募合唱団は、講師の直接指導を受けて5月5日のコンサートに参加することもできます。もう1つは、日本語の美しさや日本古来の音楽、日本人の作曲家に焦点を当てた今回の「やまとうたの血脈(けちみゃく)」では三善晃作曲の名曲を送ります。また、2年に1度の合唱指揮コンクール第5回目を開催し、若い才能のある指揮者を発掘し広く紹介することが日本の音楽界の発展に寄与するものと期待されます。日本における合唱音楽の発展のためには、歌い、指揮する合唱の担い手たちと鑑賞する聴き手たちが世界で活躍する指揮者の音楽を学び味わい、楽しむ場が必要であり少しでも安価に参加できるようにしたいと考えています。	21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」
	第一生命ホール他		
(3) スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2016	平成28年6月～10月	本事業は「音楽を通しての異文化交流」をテーマに、ワールドミュージックの紹介により世界各地のさまざまな文化との出会いと交流の場をつくり、国際社会における共生のための相互理解を深め、地域に根ざした新たな音楽文化の創造を目指す「市民参加型フェスティバル」で2016年に26回目を迎えます。県内外から集まる200名を超えるボランティアスタッフによって企画運営され、毎年1年間の準備期間を経て開催されます。本会期ではプロステージだけでなくワークショップ、映画上映、公開インタビュー、音楽バレードや出演者公募型ステージなど市民が参加しやすいようなプログラムづくりで、子どもからお年寄りまで幅広い来場者が気軽に世界の音楽文化に触れられる機会を提供します。	スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 実行委員会
	南砺市福野文化創造 センター 他		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(4) ニッセイ名作シリーズ2016/ NISSAY OPERA2016オペラ 「セビリアの理髪師」	<p>〈東京〉 平成28年6月13日 ～24日</p> <p>〈全国〉 平成28年7月8日,12日 9月9日,21日,27日</p>	<p>初めてオペラを鑑賞する中・高校生が本公演によってオペラに興味を持ち、今後も自主的にオペラ鑑賞する、あるいは将来オペラの世界に関わる人材がでてくれるようお願いをこめて本事業を実施しています。演目はロッシーニ作曲「セビリアの理髪師」初めてオペラを鑑賞するには、わかりやすい物語で歌唱技術を堪能することが出来る最適の演目であると考えています。舞台の原点に立ち返り人間が作る舞台、当時のアナログな舞台を見て欲しいという思いから、舞台上の仕掛けを動かす人間(裏方)も役者の一人と考え、学生たちが作品を鑑賞しながらにして舞台の表と裏を同時に体験可能にする意欲的なプランで挑みます。本公演の様子は映像収録され、鑑賞教室に参加出来なかった学校も含めて、アーカイブスとして誰でも閲覧出来るように準備をしています。全国公演では日生劇場で上演した内容をそのまま、質を落とさずに再現上演を行い質の高いオペラを全国津々浦々、多くの学生達へ公平に鑑賞する機会を提供して行きます。</p>	<p>公益財団法人 ニッセイ文化振興財団</p>
(5) 日本詩謡集・日本詩謡曲の発行 「日本詩謡曲集」を聴く集いの開催	<p>平成28年6月・11月 平成29年3月</p>	<p>当初より商品化にこだわらず、純粋に日本人が持っている美しい詩情を世に示すため、また会員相互の作品の錬磨と研鑽の場として51年間中断することなく日本詩謡集(既刊51集)及び日本詩謡曲集(既刊36集)を発行し、図書館、関係団体に広く贈るなど、音楽文化の発展に寄与することを目的としてきました。日本詩謡集は、広く会員から新作を募り約70作品について新作の詩集として毎年発行しています。当該詩謡集の作品に作曲者の協力を得て付曲し楽譜付きの歌謡曲集として発行。毎年3月に歌手の歌唱によりその楽曲を聴く集いを開催しています。その結果、詩を書き、曲を付け歌唱して発表するという一連のシステムを完成させ作家や歌手の発掘と育成及び歌謡ファンの増加を図っています。</p>	<p>日本詩人連盟</p>
(6) 第31回 藤田まさと記念 新作歌謡作品コンクール	<p>〈公募〉 平成28年6月～9月 〈選考会,CD製品化〉 平成28年10月 ～平成29年3月</p>	<p>新しい作品の開発と作詩家の発掘と育成を目的とし、付曲しCD製品化して音楽文化に寄与貢献します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募募集期間:平成28年6月～9月末まで ・選考会:平成28年10月 ・最優秀作詩2編への作曲募集:平成28年11月 ・表彰(新年会にて):平成29年1月 ・2編をCD製品化:平成29年3月 <p>CD原盤制作をもって完了します。</p>	<p>日本音楽著作家連合</p>
	未定		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(7) ミュージック・マスターズ・ コース・ジャパン ヨコハマ2016	平成28年6月27日 ～7月10日,14日,15日	この音楽祭は若い演奏家の演奏能力や表現能力向上を目指すことはもとより期間中生活と練習を共にすることにより、国籍・言語・文化・習慣などの違いを越えた新しい地平を参加者全員が共有し、それを演奏という行為を通して表現することも目的としています。特に自己表現の苦手な日本人には、表現力や主張の強い外国人受講生と共に演奏することの刺激は強烈で非常に大きな経験となります。外国人受講生にとっては日本人や日本の文化・生活習慣等に演奏や生活を通して接することが出来、日本に対する理解を深めることが出来ると思います。また、演奏会への地元市民無料招待、公開リハーサル、アウトリーチ活動等を通じ、開催地の市民との交流・教育・文化振興にも寄与します。	一般社団法人 ミュージック・マスターズ ・コース・ジャパン
	・横浜みなとみらいホール ・紀尾井ホール		
(8) Music Dialogue x 東京国立近代美術館 室内楽演奏 シリーズ”Discovery	平成28年7月・10月 平成29年2月	東京国立近代美術館を会場に年間を通して内容の異なる3回の室内楽演奏会を開催します。美術館という他ジャンルの空間で開催することにより、音楽ホールでは会えない聴衆や美術に関心をもつ方たちなどにも「室内楽」の魅力伝え新たな聴衆を開拓し、これからの日本の音楽演奏界を担っていく第一線の若手奏者が、国際的に活躍する経験豊かな演奏家と共演する機会を提供し独創的演奏会を開催します。聴き手に海外の質の高いアーティストを紹介するだけでなく国内若手演奏家にとっても経験豊富な音楽家との共演でアンサンブルの本質を理解し真の音楽創りを体験する貴重な成長の場となることを目指します。また、プログラムには演奏だけでなく会場の幅広い年代・層の観客と質疑応答を交わす「対話」や解説の時間を設け若手演奏家には自分の考えや意見を述べる実践の場を提供し、聴き手には演奏家の個性や魅力、楽曲が書かれた時代やそこに描かれている世界を深く知ってもらい、音楽を身近に感じてもらえる機会を提供していきます。	一般社団法人 Music Dialogue
	東京国立近代美術館		
(9) 夏休み劇場ウオッチング 「パイプオルガン大冒険」公演	平成28年7月23日	小学生を中心に府中の森芸術劇場の特性あるパイプオルガンを活かし、プロのオルガニストをナビゲータ(案内役)に迎え、わかりやすいレクチャーとミニコンサートを実施します。子供たちの体験コーナーを設け、より身近に舞台芸術を感じてもらいます。また、教育プログラム事業の一環として学校等の連携を深めながら実施していきます。	公益財団法人 府中文化振興財団 府中の森芸術劇場
	府中の森芸術劇場		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(10) 南相馬市の中高年による 「相馬ながれやま踊りjuniorの会」 地方公演	平成28年7月・8月・10月 平成29年3月	江戸時代から継承されてきた「相馬ながれやま踊り」の継承者たちは殆どが御高齢で、東日本大震災により継承者たちの内、3分の一に及ぶ人数が減ってしまい「相馬ながれやま踊り」の継承が危惧されています。そんな中、南相馬市のために何かの役に立ちたいと感じた20名程の中高生たちが現れ、伝統芸能の継承は元より彼女たちの演舞を通して「福島南相馬っこの元気」を発表。27年度の公演では回を重ねる毎に踊りの奥行きや、その面白みを感じてもらえました。特に姫路城グランドオープンに合わせての公演となった兵庫県姫路市では、姫路城に相応しい踊りと衣装のため、当地を訪れていた外国人を始め、たくさんの方々の歓声呼んだステージに馴染みつつある彼女たちは、全く新しい伝統芸能の踊り手として創造的な役割をも演じようとしています。	相馬ながれやま踊り Juniorの会
(11) 「第61回子どもの歌コンサート」 「新しい童謡曲集」	平成28年8月18日	当協会は創立当初より幼児・児童を対象に「子どもにはこどもらしい歌・楽しい歌、子ども達が喜んで歌える歌」の創作を目標として、普及活動を行って来ました。同時に曲集「楽しい童謡集」の発行と演奏会「子どもの歌まつり」を行い、平成18年からは曲集「新しい童謡曲集」「新しい子どもの歌コンサート」と改称しての曲集発行及び発表会を継続し、創作・普及に努めているところです。来年度においても、曲集を発行しコンサートを開催して音楽文化の普及・発展に貢献していきます。	全日本児童音楽協会
	渋谷区総合文化センター 大和田さくらホール		
(12) あすなろコンサート 2016	平成28年8月～11月	当団体は、未来の聴衆を育てることと、音楽家の社会貢献を目指して、山間部や離島など100人以下の小規模にプロの音楽家によるコンサートを届ける実行委員会をたちあげ協働活動しています。プロの音楽家による生演奏を聴く機会は減りつつあるため、楽器に触れ演奏される音楽を多く子どもたちに体験してもらうことで、未来の観客・演奏家の育成にも通じ、音楽家にとっても、それぞれの学校との打合せを通じて幅広い年齢(学年)に合うプログラムの工夫をすることで自身の演奏活動の幅が広がります。一般公募した、へき地の小規模校(100人以下)でのプロの音楽家がボランティアでコンサートを開催します。	あすなろコンサート 実行委員会
	全国100人以下の 小規模校 20～30校		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(13) 第39回「童謡祭」	平成28年9月3日	童謡協会会員の創作による「新しい童話」の発表と「童謡名曲」の演奏をプログラムとする“童謡コンサート”です。日本童謡協会は昭和44年(1969年)に創設され、平成25年(2013年)に内閣府より一般社団法人の認可を受けました。会員は詩人、作曲家より構成されています。日本童謡協会は、真にこどもの“心の糧”となるための「新しい童話」の創作と普及、および先人の残した「童謡名曲」の一層の振興を図って毎年「童謡祭」事業を開催しています。この「童謡祭」事業は平成28年(2016年)に第39回を迎えます。	一般社団法人日本童謡協会
	板橋区立文化会館 大ホール		
(14) チェロ・アンサンブル008 エイト in 深川	平成28年9月4日・5日	母と子、高齢者のコンサート普段まわりを気にしながら、なかなか参加出来ない親子と高齢者を対象にし、安価で参加しやすい環境を創り、子供が泣いても、あばれても安心して参加出来るよう母と子そして高齢者のコンサートを開催します。夜は一般公演としチェロは音楽ファンの中でも根強い人気がある楽器でクラシック一辺倒ではなく、親しみやすく聞きなれた選曲をアーティストと話し合いプログラムに反映します。翌日は文化から一番遠い所にいる障害者施設を訪問し演奏します。室内楽を楽しむ機会を提供し普及に寄与する事を目的に企画を考え演奏会を開催します。	NPO 法人 アートステージ空知
	4日 - 深川市文化交流 ホールみ・らい 5日 - 障がい者施設 訪問		
(15) 秋山和慶の ディスカバー・シリーズ ～“Gift”広響の新たな才能と 天才 モーツァルトの肖像～	平成28年9月16日	当年度、第2回目の本公演は、当団フルート奏者の森川と国内外ハープコンクール入賞歴など活躍を誇る高野麗音をソリストに起用。将来の音楽界を担う若手演奏家と名曲のみに捉われず実演機会の稀有な作品の紹介を併せ、聴衆に新たな発見と音楽の楽しさを提供すると共に意欲的な作品に実演により益々の音楽文化の啓蒙につながるものとします。また、当団の若手楽団員や国内で活躍する気鋭のソリスト起用とモーツァルトの名曲を取り上げます。 [演目]①武満徹:海へⅡ～アルトフルート・ハープ・弦楽オーケストラのための。 ②武満徹:弦楽のためのレクイエム。 ③ブリテン:4つの海の間奏曲～歌劇「ピーター・グライムズ」。 ④モーツァルト:交響曲第39番 変ホ長調 K.543。	公益社団法人 広島交響楽協会
	JMS アステールプラザ		
(16) 日本訳詩家協会主催 訳詩コンサート 「世界の歌を美しい日本語で」	(東京)平成28年9月22日 平成29年2月(予定) (関西)平成29年2月(予定)	「世界の歌を美しい日本語で」をキーワードとし日本語が乱れている昨今、外国音楽作品に付された美しい日本語歌詞(訳詩)の更なる普及、並びに会員の創作の振興及び新人歌手の発表を目的としたコンサートを開催します。また、訳詩家の権利を確立し優秀な訳詩の創作を助け日本文化の発展に寄与し、会員一同の更なる研鑽と日本の音楽文化の発展のため活動していきます。	日本訳詩家協会
	(東京)けやきホール (関西)ココプラザ (予定)		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(17) 音楽と写真と映像の作品 Synecdochism II 〈continuity〉の日 仏公演	平成28年9月25日 11月18日	作曲家 今井智景による音楽と写真と映像の作品『Synecdochism II 〈continuity〉』の公演を遂行支援します。お能の面「増女」「般若」を様々な角度から400枚以上撮影し、それらを組み合わせて最先端の映像技術モルフィングやモーショングラフィックを使って映像を作成します。その映像と共に音楽を生演奏し、更に作品で使用した能面2点の他、保存会で保管している能面を写真家である、たかはしじゅんいち氏が撮影し劇場ロビーなどにて展示予定です。 *撮影した能面は、豊橋市魚町能楽保存会で保管しているもので、愛知県の指定文化財になっています。	シネクドキズム実行委員会
	・愛知県芸術劇場(日本) ・Espace K. Nous (フランス)		
(18) 創立60周年記念/ ピエタリ・インキネン首席指揮者 就任披露演奏会	平成28年9月27日	当団体は2016年に楽団創立60周年を迎え、音楽面でも首席指揮者の交代という大変重要な局面を迎えます。楽団の歴史に新たな時代が加わり、その象徴として当公演を位置づけ新たなシェフの就任を聴衆・楽員とともに祝い、これまでの60年間にあまり取り組んでこなかったレパートリーの拡大(ワーグナーが中心)にも努めます。	公益財団法人 日本フィルハーモニー 交響楽団
	サントリーホール		
(19) 第49回 「新しい日本の歌」発表演奏会	平成28年9月28日	わが国には、世界に誇り得る「歌曲の伝統」がありながら、この事実を認識している人は決して多いとはいえません。現在までに都市1,495曲の新しい作品を世に送り出し、出版、放送、更に最近ではCD制作を通して新作の普及、浸透に努め、すでにコンサートの曲目として定着しつつある作品も増えています。来年度においても当会会員より作品を募集し選考の上、平成28年9月28日に東京文化会館小ホールにおいて演奏会を開催し同演奏会のライブCDを制作します。	詩と音楽の会
	東京文化会館小ホール		
(20) 日本作曲家協会音楽祭2016	平成28年10月	音楽界の発展、著作権に対する啓蒙、また地域の福祉に貢献します。時代は移りテレビの音楽番組は大幅に減り、日本(昭和)の文化ともいえる演歌、歌謡曲を耳にできる機会は激減してしまいました。この音楽祭では歌手の生の歌声を通して、その歌の素晴らしさを改めて多くの方々に感じてもらい、日本の素晴らしい音楽を今後も伝え続けていくために実際に歌づくりに携わっている作家や歌手達を督励し、育てていくことがとても重要であると考え内容を構成しています。また入場料に関しては無料で行き、高齢者や障害者の方々なども数多く招待し地域の福祉へ貢献することも目的としています。 〈1〉「特別選奨」の発表 〈2〉「ロングヒット賞」「ベストカラオケ賞」「有線大衆賞」の発表 〈3〉「日本作曲家協会音楽祭・奨励賞」の発表 〈4〉ソングコンテスト・グランプリ作品の発表 〈5〉名曲を紡ぐ～作曲家の思い～ 〈6〉スペシャルステージ(オリジナル曲)を行います。	公益社団法人 日本作曲家協会
	選考中		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(21) ミナミジャズウォーク2016	平成28年10月30日	AZZ CITY OSAKA をテーマに私たちが15年間にわたり実施してきた事業をこれまでの有料催事から初めて観覧無料とし道頓堀リバーウォーク(遊歩道)一帯で開催し多くの方々にジャズフェスを解放します。2017年にはジャズレコード出版100周年にあたり御団体との協働も視野にコアなジャズファンだけでなくより多くの方々が気軽にジャズを楽しめる場の創出を意図します。また水都大阪ならではの水路を活かした事業とし将来的世界でも例のない水路や舟運を生かす船着場をジャズで巡るフェスティバルの実現をめざします。「日本のジャズ発祥の地」から世界へ向けた情報発信をしていきます。	ミナミジャズウォーク 実行委員会
	道頓堀川遊歩道一帯、 水上特設ステージ 他		
(22) みんなでつくろうオペラ 『森は生きている』	平成28年11月10日 ～12月4日 (6回公演)	びわ湖ホール創造活動の核である劇場専属の音楽家集団「びわ湖ホール音楽アンサンブル」がマルシャークの児童文学作品「十二月の物語」を原作とする、林 光作曲のオペラ「森は生きている」を3年かけて県内各地で上演します。3年がかりで県内全域(7地域:大津・南部・甲賀・東近江・湖東・湖北・高島地域)で上演を行う予定をしています。オペラの制作を通じて各地域のホールとの協働、地域の人々の公演への参加(合唱としての出演、舞台美術の作成等)チラシ制作やアウトリーチでの県内大学や他団体と連携を深め、より広い地域、分野、領域で芸術愛好家の育成、舞台芸術の普及を図ります。劇場と実演家だけでは作りえない新たな舞台芸術の創造を地域全体で模索し、それによってより豊かな芸術文化の土壌をはぐくむことを目的とします。	公益財団法人 びわ湖ホール
	・守山市民ホール (滋賀県) ・みずほ文化センター (彦根市)		
(23) 第19回著作権シンポジウム 「いい歌を残すための歌会議・鹿児島」	平成28年11月12日	本事業の主な目的は「音楽著作権の理解と保護」であり、具体的には権利者としての作家とメーカー・カラオケ教室・歌謡曲ファンを含めた、ユーザーいわゆる広義の一般大衆との交流の場を通して、音楽著作権の正しい理解と保護を呼びかけることにあります。これまで大阪で開催して以来、広島、福岡、仙台、名古屋、東京、静岡、金沢、北海道など「いい歌を残すための歌会議」のネーミングのもと「著作権のシンポジウム」を実施してきました。ここ数年、作家による作品作りのエピソード、また参加者からの著作権に関する疑問点に答えるべく質疑応答の時間を設け、理解を深めるような有効なシンポジウムにしたいと願い計画を進めています。	一般財団法人 日本作詩家協会
	城山観光ホテル		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(24) 東京混声合唱団 第241回定期演奏会	平成28年12月16日	東京混声合唱団は多岐に渡る活動の根幹をなす定期演奏会で、これまで205曲に及ぶ新作の誕生をもたらすと共にあらゆる作品の演奏を通してレパートリーを開拓し世界へ向かって発信してきました。指揮者には2014年に東京混声合唱団音楽監督に就任した山田和樹氏を迎えプログラムでは〈作曲家の系譜シリーズ Vol.1 フランス編〉として近現代に活躍したフランス人作曲家およびそれらに影響を受けた日本人を含む作曲家の代表作品を特集します。新音楽監督の山田和樹氏と東京混声合唱団に21世紀合唱芸術の新しい未来を託し、その創生期の核となる本公演においてこれらの芸術的神髄を披露します。今回、未来を担う若手作曲家の斬新な感性から東京混声合唱団のために委嘱作曲される新作は、合唱芸術に未知なる新しい創造性を開拓することに繋がります。そして楽譜や録音はヨーロッパをはじめ世界各地に広まり再演を重ねられる可能性を秘めています。その振興普及に寄与するべく努めていきます。	一般財団法人 合唱音楽振興会
	第一生命ホール		
(25) 全日本音楽作家協会 音楽祭「こころの歌」コンサート開催 及び会報の発行	平成28年12月	当協会は、作詩・作曲・訳詩・編曲家により音楽著作家の生活権を擁護し音楽文化の普及発展を図ることを目的に日本音楽作家組合として設立されました。その後、平成9年に創立50周年を機に全日本音楽作家協会と改称し現在に至ります。主な事業としては会員の作品のうち人知れず埋もれている歌を陽の当たる場所に登場させる事を目的に『全日本音楽作家協会音楽祭「こころの歌」コンサート』を毎年実施しています。また、会報は年2回発行し会員に音楽祭の情報を提供すると共に会員からの話題も掲載し会員相互の意思疎通を図っています。	全日本音楽作家協会
	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)		
(26) FOREST of NEW ARTS (フォレスト・オブ・ニューアーツ)	平成29年2月	本事業はジャズ音楽とダンス最先端の映像表現を一つの作品として融合させるもので、音楽監督には世界的なジャズピアニストであるデビット・マシューズを迎え、札幌で活躍する若手プロミュージシャンを中心としたオリジナルビッグバンドを編成し質の高い創造的な演奏を追求します。また、ダンスを含む総合演出にはミュージシャンやダンサーとの巧みなコラボレーションによる作品作りを目指します。当団体がこれまで蓄積してきた、ジャズ音楽、クラシックバレエ、絵画や彫刻、メディアアートなど様々なジャンルの企画ノウハウやネットワークを活かし、第一線で活躍をする一流の芸術家をジャンルごとに起用し相互に刺激し合う創造的な環境の中で、ジャンルの壁を越えた新たな総合芸術公演を創出することを目的とします。	公益財団法人 札幌市芸術文化財団
	札幌市教育文化会館		

平成28年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(27) 邦楽・絃楽 プロジェクト2017 (仮題)	平成29年2月	<p>洋楽器に興味がありがちな現代音楽で邦楽器を用いた新鮮な視線に基づく作品の創作を目的とします。現代音楽の作曲家の登竜門である「現音作曲新人賞」において初となる邦絃楽器を取り上げることで、若手を中心とした新たな才能の発掘を目指すほか、プロの作曲家からも作品を募集し様々な世代の作曲家に、この分野への興味の喚起を促します。国際交流の進む現在、日本独自の創造的文化の発信を高めていきます。</p> <p>①第33回「原音作曲新人賞本選会」は独奏から三重奏、または邦楽器と洋楽器を組み合わせた三重奏曲の作品を募集。譜面審査を経て4作品の入選作を決定し演奏審査を実施。</p> <p>②「邦絃楽器へのアプローチ」の上演作品は:松尾祐孝/歳時記～琵琶の為の現代音楽小品集より、ほか 4作品程度。</p>	日本現代音楽協会
	渋谷区 文化総合センター大和田 伝承ホール		
(28) 3. 19 ミュージックの日 2017	平成29年3月	<p>1991年に音楽家と聴衆がともに「生音楽・生演奏の素晴らしさを改めて感じよう」という願いを込めて3月9日を「ミュージックの日」と提唱しました。毎年この日を中心にして3月にあらゆるジャンルの音楽家と関係スタッフが協力して、北は北海道から南は沖縄まで全国一斉に生の演奏に触れてもらう機会を増やす「全国横断コンサート」を開催しています。演奏会場はホールに限ることなく、幼稚園や病院、公共施設のロビーなど、通りがかりの方でも気軽に聴ける場所での演奏も行います。この活動を通じて音楽家が自らの演奏をもっての社会貢献と音楽に親しむ観客を増やし次代の芸術文化を育てると考えます。</p>	日本音楽家ユニオン
	全国各地のホール・ パブリックスペース (駅・病院・街頭)		
(29) 子どもを連れてクラシック 「子育て支援コンサート」	平成29年3月	<p>未就学の子がいるために通常のクラシックコンサートに来られない子育て中の家族に向け、生の音楽に触れて心豊かなひとときを過ごしてもらい未来の鑑賞人口を増やすことを目的としています。本公演は大人と子どもそれぞれが充実した時間を持つことをコンセプトにして、コンサート前半に保護者はホールで大人だけで音楽を享受する豊かな時間を過ごし、その間に子どもは年齢別音楽スタジオで演奏家と触れ合い間近に演奏される楽器の響きや音色を通し音楽の楽しさを体験してもらいます。コンサート後半は親子揃ってホールでコンサートや舞台上のスクリーンに絵本を投影し楽曲を演奏していく創意工夫をこらしたオリジナルプログラムを聴き、共通の音楽体験により親子が心を通わすことが出来る特別な構成とします。また、年齢別音楽スタジオは約60名のボランティアスタッフが子どもを受け入れ、初めてのクラシック音楽体験がより楽しいものとなるよう工夫を凝らし体験をサポートします。</p>	NPO 法人 トリトン・アーツ・ネットワーク
	第一生命ホール (中央区晴海)		